



## 建築技術性能証明書

技術名称: +NBZ 工法  
一 砕石と杭を併用した地盤補強工法一 (改定 2)

申 込 者: 株式会社新生工務 代表取締役 神農 一求  
愛知県名古屋守山区小幡中 1 丁目 8 番 17 号

技術概要: 本技術は、杭頭部周辺地盤を砕石に置換し締め固めることで、杭の支持力に砕石補強体の支持力を付加する地盤補強工法であり、砕石により表層で荷重を分散する効果と杭により地中深くに荷重を伝える効果とを複合することで、より高い支持力が得られる。本工法による補強地盤の支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して砕石補強体の支持力と杭の先端支持力のみを考慮することとしている。

開発趣旨: 本技術は、敷地条件などの制約で利用できる施工機が限定され、支持力を確保するのに必要な寸法の杭を打設することが不可能な場合や、杭だけで支持力を確保できるような硬い支持層が深く支持杭の採用が困難な場合に、表層の杭周辺に締め固めた砕石を配置することで所要の支持力を確保することを意図して開発した地盤補強工法である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明は 2021 年 11 月 1 日発行の GBRC 性能証明 第 11-22 号 改 2 (更 2) を更新するものであり、有効期間は、2027 年 11 月末日までとする。

2024 年 11 月 22 日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 川瀬 博



記

証明方法: 申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1: +NBZ 工法 性能証明のための説明資料

資料 2: +NBZ 工法 設計・施工基準

資料 3: 試験資料

資料 4: 更新資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本技術の設計・施工基準であり、支持力算定式などの設計方法の他、使用材料、施工方法および施工管理方法が示されている。

資料 3 には、資料 1 で用いた個々の載荷試験結果報告書や立会施工試験報告書などが取りまとめられている。

資料 4 には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容: 本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強体の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「+NBZ 工法 設計・施工基準」に従って設計・施工された補強地盤の長期荷重ならびに短期荷重に対する支持能力は、同基準に定めるスクリュウウェイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。